

第5回伊方町・瀬戸町合併協議会会議録

招 集 年 月 日	平成15年5月23日(金)					
招 集 の 場 所	伊方町役場 4階全員協議会室					
開会日時及び宣告	平成15年5月23日	午前10時00分	議 長	井上 善一		
閉会日時及び宣告	平成15年5月23日	午前10時48分				
会議録署名委員	樋 田 剛		石 崎 照 夫			
会 長	井 上 善 一					
委 員	委 員 氏 名		出欠等	委 員 氏 名		出欠等
	副会長	中 元 清 吉		委 員	久 世 隆 博	
	委 員	谷 藤 公 敏		委 員	上 田 實	
	委 員	上 野 守		委 員	阿 部 道 忠	
	委 員	小 泉 和 也		委 員	二 宮 英 喜	
	委 員	田 丸 喜 一		委 員	阿 部 好 晴	
	委 員	田 中 康 司		委 員	山 本 眞 平	
	委 員	山 口 和 哉		委 員	宮 下 寛	
	委 員	篠 川 晴 子		委 員	井 戸 本 昭 夫	
	委 員	大 森 次 郎		委 員	石 崎 照 夫	
	委 員	樋 田 剛		委 員	福 島 朝 行	×
	委 員	小 林 栄 喜		委 員	井 上 喜 代 男	
	委 員	木 下 清		委 員	河 野 ヤヨイ	
	委 員	古 田 宇 佐 彦		委 員	藤 村 泰 昭	
	委 員	二 宮 定 正		委 員	宮 本 敏 光	×
	委 員	藤 井 順 子		委 員	谷 口 利 治	
	委 員	田 縁 柳 太 郎		委 員	佐 々 木 喜 美 香	
	委 員	中 藤 勇				
	委 員	藤 田 昭 作				
	顧 問	顧 問	高 門 清 彦			
幹 事 会	幹 事 長	畑 中 芳 久		副 幹 事 長	清 水 博 義	
	幹 事	菊 池 和 彦		幹 事	森 口 又 兵 衛	
	幹 事	濱 口 市 作		幹 事	近 田 三 郎	
合併協議会事務局	事務局長	増 田 愛 明				
	総務班長	山 本 桂 二		調整班長	坂 本 明 仁	
	計画班長	三 好 要		班長補佐	河 上 芳 輝	
会 議 次 第	別紙のとおり					
会 議 の 経 過	別紙のとおり					
傍 聴 人 の 数	43人					

## 会 議 次 第

1 . 開 会

2 . 会長（瀬戸町長）あいさつ

3 . 会議録署名人の指名について

4 . 議事

報告

報告第 8号 伊方町・瀬戸町合併協議会委員の変更について

報告第 9号 伊方町・瀬戸町合併協議会小委員会委員の変更について

報告第10号 新町電算システムの整備方針検討結果の報告について

その他

三崎町加入申し出に伴う2町の対応について

町民意向調査（自由意見）結果について

第6回伊方町・瀬戸町合併協議会の日程について

5 . 副会長（伊方町長）あいさつ

6 . 閉 会

協議会事務局長	<p>おはようございます。大変お待たせをいたしました。傍聴者の方も含めまして一同御起立願います。礼。御着席ください。どうもありがとうございました。</p> <p>本日は大変お忙しい中、御参集を賜りまことにありがとうございました。</p> <p>本日の会議は、規約第10条の規定により、出席者が過半数に達しておりますので、この会議は成立いたしました。</p> <p>ただいまから伊方町・瀬戸町合併協議会第5回会議を開催いたします。</p> <p>本日の会議は皆様のお手元の次第に沿って進行させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、井上会長のごあいさつをお願いいたします。</p>
井上会長	<p>皆さんおはようございます。</p> <p>大変すがすがしいいい時間を迎えますけれども、今日は第5回の法定協議会につきましたの御案内を申し上げましたところ、それぞれ委員の皆様方におかれましては大変公私とも御多忙の中御出席いただきまして、こうして開催されることを厚くお礼申し上げます。</p> <p>5回の協議を重ねまして、この2町の合併協議というのもスムーズに今日まで協議を進めてきておるわけでありましてけれども、御案内のように三崎町の問題があり、正直言ってこのところ事務局も多少事務が停滞しておるといような、そんな状況の中で、16年10月を目指した協議のスケジュールというのは大変心配もされるところであります。</p> <p>合併の協議の中で、私たちは町の将来あるいは新しい町ができた後の町民にかかわる、あるいは町民の生活がどのように変わっていくのか、あるいは発展するのかという意味では、できるだけ早く新しい町のあるべき姿というのを町民の皆様方に御説明し、御理解をいただく、御賛同をいただくという、そういう言ってみれば説明責任というものも我々としてはあるわけであり、そのためにもできるだけ早くそういう作業ができるような環境を整えていくということが必要であろうと思っております。</p> <p>今日は、議題の中にその他として三崎町の加入の件につきまして</p>

<p>協議会事務局長</p>	<p>でも御相談をさせていただくことになっております。どうか建設的な発言をいただきまして、一つの方向が見出せれば大変ありがたいなと思います。そういうことを踏まえてどうぞよろしくお願いを申し上げまして、開会のごあいさつといたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、早速会議に入らせていただきます。</p> <p>これよりの議事進行は、規約第10条の規定によりまして、井上会長に進めていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>井上会長</p>	<p>早速ですが、会議を進めさせていただきます。</p> <p>会議次第3番の会議録署名人の指名についてお諮りをいたします。</p> <p>私の方で指名させていただいてよろしいでございましょうか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
<p>井上会長</p>	<p>それでは、本日の会議録署名人に伊方町の樋田剛委員と瀬戸町の石崎照夫委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>最初に、報告からお願いいたします。</p> <p>本日の報告は3件でございます。</p> <p>最初に、報告第8号伊方町・瀬戸町合併協議会委員の変更についてを議題といたします。</p>
<p>総務班長</p>	<p>事務局の説明を求めます。</p> <p>失礼いたします。</p> <p>報告第8号伊方町・瀬戸町合併協議会委員の変更について。</p> <p>伊方町・瀬戸町合併協議会の委員について、次のとおり変更があったので報告する。</p> <p>規約第7条第1項第2号の委員。</p> <p>伊方町議会議長、変更前得能鶴利、変更後谷藤公敏。</p> <p>伊方町議会選出議員、変更前上野守、変更後上野守。変更前大星政人、変更後小泉和也。変更前廣瀬秀晴、変更後田丸喜一。</p> <p>変更理由、平成15年5月14日選任による。</p> <p>平成15年5月23日提出。</p> <p>伊方町・瀬戸町合併協議会 会長井上善一。</p> <p>今回の変更につきましては、新しく伊方町議会の編成がなされたことによります変更でございます。</p>

井上会長	<p>なお、委嘱につきましては席上に配付させていただいておりますので、配付をもって委嘱状の交付にかえさせていただきます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ただいま事務局から説明をいたしましたとおり、伊方町議会の議員さん方に変更がございまして、新たに御就任をいただきました。新たに委員として御就任いただきました委員の皆様方に自己紹介をお願いいたします。</p>
谷藤委員	<p>どうぞ。</p> <p>失礼いたします。</p> <p>去る13日の伊方町臨時会におきまして議長に選ばれました谷藤でございます。浅学非才の身でございます。大変合併に対してのこの重要な時期、身の引き締まる思いがいたします。よりよい方向に向かって進めていきたいと、このように思っております。よろしくをお願いいたします。</p>
上野委員	<p>前任に続きましての再任というようなことで指名を受けました上野でございます。ひとつよろしく願いをいたします。</p>
小泉委員	<p>伊方町町会議員、総務文教常任委員長をしております小泉です。よろしくをお願いいたします。</p>
田丸委員	<p>産建の方の委員長を仰せつかりました田丸でございます。この末席に加えていただきまして、今後皆さんとともによりよい合併に向けての相談をしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
井上会長	<p>ありがとうございました。委員の皆様方ともども本協議会の運営に格別の御協力、御指導をお願い申し上げます。</p> <p>次に、報告第9号伊方町・瀬戸町合併協議会小委員会委員の変更についてを議題といたします。</p>
総務班長	<p>事務局の説明を求めます。</p> <p>失礼いたします。</p> <p>資料の2ページでございます。</p> <p>報告第9号伊方町・瀬戸町合併協議会小委員会委員の変更について。</p> <p>伊方町・瀬戸町合併協議会小委員会委員について、次のとおり変更があったので報告する。</p> <p>総務小委員会、伊方町議会議長得能鶴利変更前、変更後谷藤公</p>

井上会長	<p>敏。</p> <p>変更理由、平成15年5月14日選任。</p> <p>住民小委員会の変更でございますが、廣瀬秀晴委員から小泉和也委員。</p> <p>平成15年5月14日選任でございます。</p> <p>企画小委員会でございますが、大星政人委員から田丸喜一委員。</p> <p>平成15年5月14日選任でございます。</p> <p>平成15年5月23日提出。</p> <p>伊方町・瀬戸町合併協議会 会長井上善一。</p> <p>以上でございます。</p> <p>協議会への御協力をあわせまして小委員会の運営に御協力、御指導をお願いを申し上げます。</p> <p>次に、報告第10号新町電算システムの整備方針検討結果の報告についてを議題といたします。</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
調整班長	<p>失礼します。</p> <p>資料3ページをお願いいたします。</p> <p>報告第10号新町電算システムの整備方針検討結果の報告について。</p> <p>新町電算システムの整備方針検討結果について、別紙のとおり報告する。</p> <p>平成15年5月23日提出。</p> <p>伊方町・瀬戸町合併協議会 会長井上善一。</p> <p>次の4ページをお願いいたします。</p> <p>新町電算システムの整備方針についての検討結果という資料を作成しておりますので、読み上げて報告とさせていただきます。</p> <p>1、検討の目的。伊方町、瀬戸町の両町では、住民総合情報システムやグループウェアを活用した事務処理システムを運用しており、それぞれ過去の導入時期や経緯の違いなどから、異なったシステムが導入されています。このため、新町における電算システムの整備方針について調査研究、比較検討を行うに当たって、</p> <p>1、住民サービスの低下や事務処理に混乱を招かない。2、職員の操作性に支障を生じない。3、新町発足時に安定稼働が確保さ</p>

<p>井 上 会 長</p>	<p>れる。4、整備に係る経費の節減が見込まれる。5、国や県との電子自治体の将来構想との整合性が確保される。</p> <p>以上の点を考慮しながら、その整備方針を策定することを目的といたしました。</p> <p>2、検討の方法。検討に当たっては、伊方町、瀬戸町の両町から、コンピュータシステムにより事務処理を行っている業務の従事者を委員として、各町から10名、計20名で検討チームを組織して、調査研究、比較検討を行いました。</p> <p>3、整備方針の策定方法。検討チームにおいて2回の会議を開催し、1、両町の電算業務の実施状況について各委託業者からの詳細説明を受けました。2、両町の電算システムの整備状況の視察と操作性の確認を行いました。3、整備方針についての意見交換を行いました。4、各委員へのアンケートによる意見の集約を行うという手順で作業を行いました。</p> <p>4、整備方針の取りまとめ。検討チーム会議により、委員の意見を取りまとめた結果は次のとおりです。</p> <p>新町におけるコンピュータシステムの整備方針。1、合併時のコンピュータシステムの整備に当たっては、現在2町で導入、運用しているいずれかのシステムを基本として統合するものとする。2、システムの統合に当たっては、伊方町のシステムを基本として統合整備を図るものとする。3、伊方庁舎と瀬戸庁舎間の接続については、光ファイバーケーブルの環境整備を検討するという方針でございます。</p> <p>5、今後の作業について。伊方町の委託業者である株式会社愛媛電算と作業スケジュールや導入経費の検討を進め、具体的導入計画の策定を行います。</p> <p>なお、今後作業の進捗状況につきまして、幹事会との協議を経て随時この協議会へ報告させていただき予定といたしておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま事務局からこの電算システムの整備方針についての検討結果の報告の説明があったわけですが、これにつきまして御意見、御質疑はございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
----------------	--

井上会長	<p>特にないようでありますので、今後新町における電算システムの件につきましては、整備方針の検討結果に基づきまして、引き続き統合整備に向けて準備をさせていただくということで御了承をいただきたいと思えます。</p> <p>次に、その他に入ります。</p> <p>その他の三崎町加入申し出に伴う2町の対応についてを議題といたします。</p> <p>まず、加入申し出に伴う経過につきまして、事務局から報告を求めます。</p>
協議会事務局長	<p>失礼します。</p> <p>お手元の資料によって説明を申し上げます。ごらんいただきたいと思えます。</p> <p>まず、この三崎町加入申し出に伴う経過としましては、既に皆さん方、新聞、テレビ等でその概要については御承知のとおりであります。平成15年2月23日に三崎町における住民投票が実施されてからの主な項目を記載しております。</p> <p>これにつきましては、各委員さん方におかれましても大変関心のあることだろうと思えます。前回の4月17日の協議会の席上におきましても、会長、副会長のそれぞれのごあいさつにもありましたように、統一選挙後に具体的に検討すると述べられました。</p> <p>そういうようなことで、今後どういう手順でいくのかということ、2町の対応について各町長さん方からお考えを伺いたいと思っております。</p> <p>まず、伊方町中元町長さんからお願いをいたします。</p>
中元副会長	<p>三崎町が我々2町へ合併をしたいという正式の申し入れが来ているということは、もう皆さん方御案内だろうと思えます。そして、それを受けまして、私ども伊方町は合併懇話会を2回開会をいたしまして、その意見の集約を得ておりますし、それから瀬戸町さんもお聞きいたしましたところ、50人委員会で検討をされているようでございます。三崎町の町民の皆さんが3町へという、そのような意思決定をせられた、そのことを我々は拒否するわけにはいかないだろうというのが概略の結論であろうと思えます。</p>



協議会事務局長  
井上会長

したがいまして、それを受けまして伊方町といたしましては、新しい議会もできましたことですので、今度6月の定例議会へ三崎町との3町合併の提案をいたして議会の承認をとりたいと思っております。それを、3町同時に議会の決議を受けなければならないと思っておりますが、議会の承認を受けましたら、後今度皆さん方にまたこの協議会へ提案をする、皆さん方の御意見を伺うということになるかと思っておりますが、議会の決議を受けますと、この協議会の編成替えをしなければなりませんので、その告示をし、その上でまた3町で合併をするという、今瀬戸と伊方の調印をしておりますけれど、3町の調印をしなければならないだろうと思っておりますし、その調印ができましたら県の方へ御報告をする。そして、7月のこの協議会から三崎町の委員さん方も合流をして協議に加わっていただくという、そのような順序を経て正式に3町の協議をいたしたいという考えを持っております。

細部にわたっては、井上町長と何も相談しておりませんので、具体的な問題についてはこれからお互いに検討をし合って始めたいと、具体的なアクションを起こしたいと、そのような考えであります。

以上です。

続きまして、瀬戸町の井上町長さん。

伊方町、瀬戸町という2町合併協議会をつくって事務的にこのように協議を進めておるわけですので、この三崎町の加入につきましても、伊方町と歩調を合わせて同じようなスケジュールで作業を当然進めなければならないと思っておりますし、大方のスケジュールといたしますか、流れというのは今中元町長がおっしゃったようなことだと思っております。

瀬戸町も4月に50人委員会を開催し、その50人委員会の中で委員長が三崎町の加入についての取りまとめをしていただきました。いろいろ御意見はございましたけれども、三崎町が加入するということ、参加するということについての大方の御理解はいただいたということでの取りまとめをしていただいております。

先ほどちょっと私、開会のあいさつでも申し上げましたように、やはり一番大事なものは町民の皆様方に合併をした後のまちづくりといたしますか、町の展望、ビジョンというのをできるだけ早

	<p>く中間報告という形で1回、説明する必要があるのではないかと 思うんですけども、そういう作業をするに当たっては、まず枠 組みが決まらないとその作業ができないわけでございます。そう いう意味では、できるだけ早く決めて、その中で合併後の新しい まちづくりの将来展望、それから住民生活に直接かかわる問題が どのようになるのかということの説明をしていく必要があるのは ないかと思っておりますので、そういう意味では原則的には先 ほど中元町長がおっしゃいましたように、6月定例というのを控 えておりますので、瀬戸町の場合はまだ議会の中での三崎町の加 入についての協議はなされておりませんので、定例までの間にそ ういう環境を整えて議案として提案をして、その方向を求めら れ、ということになるのではないかと思っております。その議 決を経て方向が決まれば、それから先の作業というのは先ほど中 元町長がおっしゃったようなことで、3町での協議会が発足し協 議がスタートするというようなことになろうかと思っております。</p>
<p>協議会事務局長 井上会長</p>	<p>以上です。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>今、それぞれ伊方、瀬戸町の方針といいますか、考え方あるい は今後の事務的なスケジュールも含めて、こういうことになるの ではないかという説明をいただいたわけでありまして、この 件につきまして皆様方の御意見、御質問ございましたらお願い をいたします。</p>
<p>田縁委員</p>	<p>特にありませんか。</p> <p>はい、どうぞ。</p> <p>この住民投票の結果の数字でございますが、これは非常に重大 な意味を持った結果だと私は受けとめております。したがいまし て、3町合併ということは、これはもう議会の方で決まれば、そ のことにしましてはやぶさかではありませんが、数字だけで見ます というと、わずか15.3%という比率で、投票率が83%ある 中で、拮抗という言葉は当てはまらんにしても、余り差がない と。そうすると、いわゆる町民の意向が二分化されておるとい うような数字ではないかと、このように思います。したがいまし て、お互いがもし3町合併ということになれば、その三崎町に流</p>

	<p>れる住民の心理というものをやっぱりいろいろな形で分析して、今後合併の方向へ行くとするなれば、それを踏まえての協議会でありたいと、このように考えています。今、42%余りの1市2町という流れがどこでリードされてきたものか、これは住民投票の結果というのは本当に拮抗しておるといふ数字に近い内容だと私は受けとめておりますので、そこら辺のこの投票結果というものも両町で議会の方でどう斟酌されて協議されるのか、これを十分に意にとめてほしいと、このように考えております。</p>
井 上 会 長	御意見ですね。
田 縁 委 員	はい。意見です。
井 上 会 長	ほかにございませんか。
	はい、どうぞ。
藤 村 委 員	瀬戸町の藤村でございます。
	今、伊方の老人クラブ会長さんが言われましたんで、受ける形で私の方も一言意見を述べさせていただきます。
	<p>ただいまの会長の方から意見を言っただろうかというふうな発言もございました。そこで、私の所属するのは企画小委員会で、将来構想等を練り上げるのについて、このアンケート等も参考にして、今から大変な作業が出てくるんじゃないかと予想されておりますが、ここで特に議会の皆さん、選出の方々は議会でも十分御論議があろうと思っておりますけれども、瀬戸町の50人委員会も井上町長の主催で開かれたときも、瀬戸町は三崎町と地続きで婚姻関係も親戚関係も多いようでございますので、さほどの抵抗なしに、三崎が来るというのであればアンケート結果がああであればスムーズに入れてあげるのが本当ではないかという意見がありました。が、ただ今までが瀬戸や伊方を嫌って、八幡浜の方へ飛んでいくと言っていたのが、特に今度あんたの方が好きになったから行きますと言ったって、そうはいけんでというふうな話もございました。</p>
	<p>それで、私どもも委員の一人として勉強しないといけんで、多少勉強してみますと、例えば今日子供さん方もおられるからあえて言うというわけではございませんが、三崎には三崎中学校、二名津中学校、串中学校という、あの小さい町に3つあります。ところで、事務局にお尋ねしますが、県下で1行政区で1中</p>

学に合併してないところがあと1つか2つかあると聞きましたが、そこをちょっと教えてもらいたいことと、それが私も隣町でありますからよくニュースにも入るんですけども、三崎町は給食もないと。学校給食のないところというのはめったにないと思います。我が町ははやもう10年も15年も前からずっと端まで運搬して温かい給食を提供しておりますが、三崎については町の理事者が怠慢なのか、議会の皆さんが怠慢なのか、それからまた住民も欲してなかったのか、勉強しなかったのか、この大事な子供の健康に、保健に関する問題等もやってないようなふうだと。いろいろもろもろの、例えば診療所等につきましても、瀬戸の診療所は町長いつも自慢するように黒字だというんですが、三崎においては7～8億円の赤字があって、にっちもさっちもならんようなことになっておるといふうなことですけれども、そういうことも今まで合併協議会を立ち上げて、同じ土俵で話をしようやないかということで初めに話し合いをして設けた協議会の委員であれば、そこで何が出てこようと話すは当然でございますけれども、このようなことで我々の2町は既にはや法的協議会も第5回になると。それまでの任意協議会も4回ほどあったと。ずっとかなりのエネルギーを費やしてきておるのに、今言ったような心配事が2件、3件あるのですが、そこらも当然我々委員が審議もせず、関心も持たずに、ただ町長らの提案に異議なし、異議なしと、議会で決まったから異議なしぞというばかりも、我々わざわざ出てきておる委員が何をしておるかというようなことがありますので、そういうふうなことも、承ると、伊方の町長も6月議会で提案して、議会で決まれば今度議員が選んで出た委員を三崎から受け入れて、7月からは我々と同じように協議するということですけれども多少は来るときにはやっぱり敷居も高いからおみやげも持ってこないけん、こういうふうなところは勉強してきたけれども、どうにもならんが、3年ぐらい向こうには教育効果が上がるように学校も合併するように一遍ぐらいは話もしたと、なかなか難しいような問題はあるけれども、今後ともやってまいりたいと、そういう努力ぐらいは我々はしてもらおうのが本当やなかろうかと。その努力もせずに、ただ来て、伊方や瀬戸の方は先進地で前向いて行きよるし、承ると伊方の方は相当財政も豊からしい

	と、三崎を救ってくださいよというぐらいのことでは我々合併の本当の対等合併じゃない。それやったら吸収合併になるというようなことも思うて、言いたいこともだれかが言わんことには、やっぱり向こうにも通じませんので、私、この中に、言うたら私が一番年上のございますから、言いたいことも言ってみました。が、両町長さん、そこらの点についても素朴な住民の意見、いろいろありますんで、どうぞひとつ御斟酌、参考にさせていただきたいと。失礼しました。
井上会長	はい、どうも。 学校の関係ですか。
協議会事務局長	はい、事務局に質問がありましたんで、郡内、三崎町さんは別として、郡内あと4町はそれぞれ1校、中学校は1校なんですけれども、県外まではちょっと手元に資料がございませんので、また後ほど調べまして御報告させていただきます。
藤村委員	県内、県内。
協議会事務局長	県内までちょっとまだ承知しておりませんので。
藤村委員	どっか1カ所というふうに私調べておりますが。
協議会事務局長	藤村委員さんが調べられとるのなら間違いはないのでしょうか。
井上会長	貴重な御意見ですが、ほかに御意見あるいは御質問はございませんか。
	はい、どうぞ。
中藤委員	事務局にちょっとお聞きしますが、先ほど井上町長さんが合併後の展望の枠組みを早く示したいというふうなことをお聞きしましたが、三崎町は瀬戸町と伊方町のようにどういうふうにしたいという調査はもうなされておるんですか、なされてないんですか。といいますのは、来年の10月1日の合併となりますと、私も企画委員といたしまして、その内容の件をいろいろと調査したいので、もしそういう調査の何といいますか、調査なされておるか、おらないかをお聞きしたいんですけれど。
井上会長	じゃあ事務局お願いします。
協議会事務局長	まだ、この三崎町との正式な話し合いはまだやっておりませんけれども、担当者レベルでは今2町の合併協議の進捗状況については三崎町に説明をしております。それに対して、三崎町さん

<p>中 藤 委 員 井 上 会 長 井 上 会 長 計 画 班 長</p>	<p>の方はできるものは自分たちも頑張るといふようなことで、それぞれ今努力をしていただいております。ただ、これはあくまでも三崎町さんのお考えで今はやっていただいております。</p> <p>そういうようなことで、町の将来構想に係る住民アンケート、これにつきましては、もう既に三崎町さんの方は各戸に配布してその作業に入らせていただいている、こういう状況です。</p> <p>はい、わかりました。</p> <p>ほかに御意見はございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>特にないようでございますので、続きまして の町民意向調査結果についてを議題とし、事務局から説明を求めます。</p> <p>失礼します。</p> <p>それでは、お手元の資料7ページをお願いいたします。</p> <p>町民意向調査自由意見の報告書を説明させていただきます。次のページから地域格差の是正策の方法、町の魅力や自慢にできるもの、キャッチフレーズ、新しい町の将来の夢やアイデアについて、意見の多い項目順にまとめてみました。</p> <p>それでは、8ページをお願いいたします。</p> <p>地域格差の是正策ですけれども、きめ細かな行政サービスと町民の意見を重視し施策に反映するという意見が多くありました。具体的な方策として、巡回バスを整備し、交通機関の改善という意見は高齢者の方に多くありました。また、周辺部の施設整備、中心部へ、また各集落間のアクセス整備、地区内道の整備という身近な意見、また支所機能の充実ということで、現行のままで行政サービスが受けられる体制づくりを望むという声がありました。</p> <p>次に、9ページをお願いいたします。</p> <p>町の魅力や自慢できることについてですけれども、自然という意見が約4割という圧倒的な回答でした。また、地域の個性ということで、原子力発電や風力発電というエネルギーの町という意見も多数ありました。また、人情味やミカン、魚という、この地域の変わらない資源やよさが意見としてありました。</p> <p>次に10ページをお願いいたします。キャッチフレーズ、こんな町</p>
--	--

	<p>にしたいについては、上位意見として、生活環境のよい住みやすい町である、自然豊かな人情味ある笑顔あふれる町という意見が多かったようです。また、若者が定住できる町、佐田岬半島を利点にした観光の町、きらりと光るまちづくりという意見がありました。</p> <p>11ページの方に、ユニーク例として、これだけは日本一のまちづくりですとか、日本の元気はここから発信、きらりと光るエネルギーの町など、多くの意見が出されておりました。</p> <p>最後、12ページをお願いいたします。</p> <p>最終ページの方に将来の夢やアイデア、合併についての意見ということでまちづくりへの提案、要望から合併への期待、不安、合併の枠組み、新町の名称等について数多くの意見が出されておりました。</p> <p>特に意見が多かったものですが、若者が残れるような雇用対策、定住対策を行ってほしい。また、この地域の個性を生かした観光振興策の提案もありました。高齢者の方からは、巡回バス等の交通機関の整備を望む声が多数ありました。</p> <p>合併への期待としては、2町が合併してお互いの交流を通して一体性のある町を望むものや、合併してよかった、住んでよかったと言える町を期待するというものでした。</p> <p>逆に不安、期待できない点としては、現状より悪くなる、行政サービスの低下や公共料金等の負担増という声がありました。また、一部の地域のみ発展し、地域格差が生じるのではないかという懸念の声もありました。</p> <p>以上、自由意見をまとめてみました。町民意向調査の結果を将来構想に反映させるということで、現在検討をしております。事務局からの説明は以上です。</p> <p>住民意向調査の中から自由意見を取りまとめたものを今事務局から説明があったわけでありましてけれども、これにつきまして皆さん、委員さんの方で御意見、あるいは事務局に対する御質問何かございましたらお願いをいたします。</p> <p>特にありませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>特にないようでありますので、次の 第6回伊方町・瀬戸町合</p>
井 上 会 長	
井 上 会 長	

<p>総務班長</p>	<p>併協議会の日程についてを議題といたします。 事務局の方から説明をお願いします。 失礼いたします。 13ページでございます。</p>
<p>阿部道忠委員 総務班長</p>	<p>第6回伊方町・瀬戸町合併協議会の日程についてでございますが、現在議会等の日程の都合によりまして空欄となっております。第6回は瀬戸町での開催ということになってございますが、日程が決まり次第、7月の早い時期に開催したいというように考えております。</p>
<p>井上会長</p>	<p>6月でしょう。 6月の下旬から7月の上旬にかけて開催したらというような考えでおりますので、決まり次第御連絡させていただきますので御了承いただきたらと思います。</p>
<p>井上会長</p>	<p>第6回の協議会の日程ですけれども、議会日程の関係があるので、本日は決定できないということでございます。決定次第、また皆様方に御連絡するということによろしゅうございましょうかね。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
<p>井上会長</p>	<p>それでは、続きまして小委員会の開催日程について、事務局の方から説明をお願いします。</p>
<p>総務班長</p>	<p>小委員会の開催日程でございますが、資料にはございません。そういうことで、各小委員会の開催日程につきまして、第2回の小委員会の開催でございますけれども、小委員会の構成が変わっております。経過報告も含めまして6月9日の週に開催したらどうかということで事務局としては考えてございます。各小委員会の方、御都合の方、どうでしょうか。ちょっとこの場でお聞きいたしたいなと思っておりますが。</p>
<p>阿部道忠委員 総務班長</p>	<p>全部もう一括にやるんですか。9日、1日間に……。 いや、9日の週です。9日から13日までの週で小委員会どうかということで考えておるんですけれど。住民小委員会の方、どうでしょう。</p>
<p>宮下委員 総務班長</p>	<p>僕の一存ではいかんのですけれど。 この場で決定できなかつたら、またこの会議の後でも事務局の方にそれぞれ御報告いただければと思いますので、その旨よろし</p>



阿部道忠委員	<p>くお願いしたらと思います。</p> <p>1日で1人ずつ事務局出席ということではできませんか。同じ9日の週の9日に開催して、午前中に住民、総務をやって午後には企画というような形、それかもう9日に事務局が4人でみんな分散して10時なら10時から開催というような形。</p>
協議会事務局長	<p>できるだけ短期間でやりたいと思うんですけども、なかなかこれは小委員会というのは議事録もっておりますので、議題の内容にもよるんですけども、午前と午後とに分けて開くというのは、今までもそういう実績がありますので、その検討はさせていただきますが、まず小委員会の各委員さん方々の日程調整から先させていただきたいと思いますのでご理解いただいたらと思います。</p>
井上会長	<p>この会議が終わった後、それぞれ委員長さん、事務局と日程調整というんですか、それをお願いしたらと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>その他でございますが、皆さんの方で何かございませんかね、御意見、御質疑。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上会長	<p>特にないようでありますので、以上をもちまして本日の議事につきましては終了いたしたいと思います。ありがとうございました。</p>
協議会事務局長	<p>それでは、閉会に当たりまして、中元副会長のごあいさつをお願いします。</p>
中元副会長	<p>第5回の法定協議会、大変御苦労さまでございました。</p> <p>本日のこの会議のテーマは、何といたしましても三崎町の合併問題であったと思います。先ほど藤村委員がいろいろ三崎町の合併に対しての御意見、それと住民の皆さん方の正直な感情と、問題をお話しになりましたが、おっしゃられた内容は伊方町の町民も、もちろん瀬戸町民よりも伊方の町民の方がおっしゃられた内容については強く考えているかもわかりません。そのような非常に不満を感じる状況ではありますけれども、しかしこの行政合併というのは民間の企業の合併とは違いまして、利害関係、経済的な、金銭的な利害関係だけを言っていたのでは地域の住民のこれからの将来の展望は開けていかないということになるわけでござ</p>

<p>協議会事務局長</p>	<p>いますので、それは新しくこれから入ってきた三崎町の役員さん方を交えての協議の中で、あるいは新町を立ち上げてから後の運営の中で調整をし、整備をしていかなければならない問題であろうと思います。そのような問題を理解した上で、この合併問題の実現を図らなければならないということでございますので、それは本当に大きなネックはたくさん出てくるであろうと思います。産業基盤の整備状況にいたしましても、あるいは教育、福祉などのいろいろな施設にいたしましても、あらゆるそれぞれの町村の社会資本の整備状況は違っているのでございますし、そしてまた関係住民の皆さん方は最もよい進んでいるところを志向して要求をせられるであろうと思います。これを受け入れなければならない、そのニーズにこたえなければならないということになるわけでございますので、そういうことを想定いたしますと、これからの三崎町が加わってきたこの合併協議会の協議は、本当に難しい問題の処理をしなければならないことになるであろうと思います。委員の皆様方におかれましては、これからがこの合併問題の本番であるという、そのようなお考えで取り組んでいただきたいと思っております。先ほど、事務局がちょっと言いましたし、私も言いましたが、6月の議会をなるべく早い時期に3町で招集をし、そして6月いっぱいまでに三崎町との調印あるいは6月の本協議会、そして県への届け出、そのような諸作業を6月いっぱいに済まして、7月から三崎町との協議に入りたい、入るべきだと。そうしないと、来年の10月までに、まだ諸問題の整備がすべてつかなくなるのではないかと、ひょっとすると少し延期をしなければならないような状況に追い込まれるのではないかと懸念もいたしますので、事務局の方でもそのようなスケジュールは合理的に早く進めるような計画を立てさせますが、委員の皆さん方におかれましても、ぜひそれに対しましての御協力いただきますようお願いをいたしまして、閉会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。御苦勞でございました。よろしく願いいたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして本日の会議の全日程を終了いたします。</p> <p>一同御起立願います。礼。大変お疲れさまでした。</p>
----------------	---

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊方町・瀬戸町合併協議会会長

会 議 録 署 名 委 員

会 議 録 署 名 委 員